

OUTLINE of Shizuoka University Library

静岡大学附属図書館概要

2012



静岡大学附属図書館概要 2012

目 次

はじめに.....	1
静大図書館のいま（平成23年度活動状況）	2
〈クローズアップ〉 学生協働の推進.....	3
沿革.....	4
1. 略年史	
2. 歴代館長・分館長	
組織機構.....	7
1. 機構図・職員配置	
2. 附属図書館委員会委員	
施設設備.....	8
1. 平面図	
2. 諸設備	
3. 主要室面積及び座席数	
情報システム.....	12
1. 情報システムの概要	
2. 電子資料等	
主要コレクション.....	14
1. 大型コレクション	
2. 特殊コレクション	
3. その他の主要コレクション	
資料統計.....	16
1. 受入数	
2. 蔵書数	
3. 視聴覚資料数	
4. 分類別蔵書冊数	
5. 図書館経費	
学術リポジトリ.....	17
1. 資源タイプ別コンテンツ数	
2. ダウンロード件数	
利用統計.....	18
1. 開館日数等	
2. 入館者数	
3. 館外貸出冊数	
4. ILL文献複写件数	
5. ILL現物貸借冊数	
6. セミナー参加人数	
刊行物等.....	20
1. 冊子体目録	
2. 定期刊行物・その他	
交通案内／図書館位置図.....	21
新たな大学図書館像の模索.....	23

はじめに

法によって設置が義務づけられていた国立大学附属図書館は、法人化に伴ってその存在意義と価値を明確にし、組織内外の評価を経て運営される存在となった。加えて学術情報の急速な電子化である。図書館という場へ来る必要がなくなった利用者も多い。このような状況のもとで図書館はどのように研究支援をおこなうかという大きな課題を抱えつつ、静岡大学附属図書館も学習支援へ大きく舵を切った。教育と研究が密接にリンクする大学らしい図書館をしっかりと目指していきたい。この概要は、静岡大学附属図書館の現在と過去をしめす基本資料をまとめたものであるが、これ自身もっと変わらねばならないのであろう。

平成24年 9月
附属図書館長 加藤憲二

静大図書館のいま

(平成23年度活動状況)

教育支援



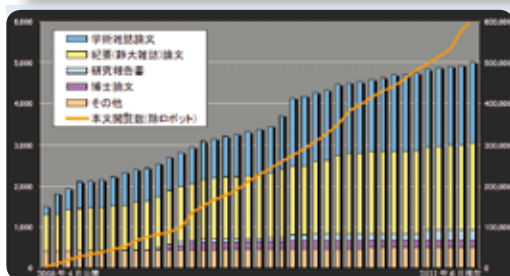
図書館利用セミナー
59コマ1988人参加 (4～6月)



キャリア支援図書を
充実 (12月)



学生モニターの活動
(学生協働の推進)
・選書ツアー
・オススメ本紹介
・キャンパスフェスタでの
イベント開催
・緑のカーテンづくり
など



静岡大学学術リポジトリ (SURE) に
よる論文の公開が進み、登録コンテ
ンツが5,000件を突破 (6月)

研究支援



SpringerLinkのバックファイル (創刊～1999年) を整備。
Web of Scienceの収録年数を2年遡及

情報発信



・静岡本館ギャラリーで
企画展を10回開催
・浜松分館でパネル展示
研究室紹介を2回開催



ゴードン・コールマン客員研
究員が滞在 (約10ヵ月)



金沢大、名大と合同で職員2名が
海外の大学図書館を調査 (3月)



加藤館長がE J 関係の
国際会議に参加

国際

施設・システム



図書館システムのリプレイスにより、
OPAC・myLibraryが充実。システムの
全面クラウド化も達成 (2月)



浜松分館がリニューアル (8月)



<クローズアップ> 学生協働の推進

現在、静岡大学附属図書館では、学生が図書館を舞台に活発に活動しています。
ここでは、その様子をご紹介します。

静岡

図書館フェスタ2011



書庫蔵書展示会



作ろう！和とじ本



図書館発見☆クイズラリー



平成23年11月19日～20日に静大祭と同時開催された「キャンパスフェスタin静岡」では、学生モニターが「図書館フェスタ2011」と題して、＜作ろう！和とじ本＞＜図書館発見☆クイズラリー＞＜書庫蔵書展示会＞の3企画を実施しました。大好評でした。

静岡

他にもこんなことを やりました



緑のカーテン



おすすめ本



モニターミーティング

浜松

浜松では



ブックハンティング



緑のカーテン

図書館カフェ



リニューアルした浜松分館の屋外テラスでは、平成24年4月～8月、情報学部吉田研究室による「図書館カフェ」が、公共スペースの創出をテーマとする研究の一環として、また新図書館構想＜Student's PORT＞の実証実験として設置されました。その運営は、すべて情報学部の学生により行われました。

浜松



1. 略年史

年 月	事 項
1949 (昭24) 6	◇静岡大学創立 (文理・教育・工学の3学部)
11	◇図書館規則を制定し、中央図書館は当分の間文学部に置き、各学部・分校の図書室は分室とし、図書館運営の協議連絡機関として新たに図書館委員会を設置
12	◇文学部図書館長が中央図書館長併任 (中央図書館職員は事務長1、係員2)
1951 (昭26) 4	◇県立農科大学が農学部 (磐田) となり、図書館分室を設ける ◇同上分室建築工事竣工
1952 (昭27) 4	◇教育学部三島教場の図書館分室を廃止し、教育学部 (静岡) 分室に統合
1955 (昭30) 4	◇教育学部島田分校の図書館分室を廃止し、教育学部 (静岡) 分室に統合
1958 (昭33) 12	◇中央図書館長選考規則を制定
1959 (昭34) 9	◇中央図書館・分室を合わせて、附属図書館と改称 工・農・教育学部浜松分校に各分館を設置 事務機構は事務長1、係長3、係員7となる
1965 (昭40) 3	◇教育学部浜松分校分館を廃止 ◇教養部西部教場 (浜松) に教養部西部分室を設置 ◇附属図書館長が評議会の構成員となる
1966 (昭41) 4	◇工学部分館を浜松分館と改称
10	◇附属図書館で教養課程指定図書制度を実施
1967 (昭42) 4	◇教養部の大谷地区移転に伴い、臨時図書室 (約5,000冊) 開設
1968 (昭43) 3	◇大谷地区に附属図書館の新館 (RC- 5 4,535㎡) が竣工
4	◇教養部西部分室を廃止し、本館に統合
9	◇附属図書館大谷地区に移転
1970 (昭45) 1	◇附属図書館の広報誌「図書館通信」を創刊
1972 (昭47) 3	◇浜松分館の新館 (RC- 2 1,471㎡) が竣工
1973 (昭48) 4	◇農学部の大谷地区移転に伴い、農学部分館を廃止し、本館に統合 ◇参考調査係を設置し、4係となる
1977 (昭52) 4	◇部課制を実施するとともに受入係を設置、2課5係となる
1978 (昭53) 3	◇本館増築 (RC- 7 3,061㎡) 竣工
1979 (昭54) 11	◇本館の時間外延長開館 (月～金 20:45、土 16:45まで) を実施
1980 (昭55) 4	◇大谷地区各部局の自然系外国雑誌 (149タイトル) 本館に集中
1982 (昭57) 3	◇本館にブックディテクションシステム装置導入
1983 (昭58) 3	◇浜松分館増築 (RC- 2 1,035㎡) 竣工
6	◇浜松分館の時間外延長開館 (月～金 20:00、土 17:00まで) を実施 ◇浜松地区自然系外国雑誌 (279タイトル) 分館に集中
1984 (昭59) 1	◇整理課に図書館専門員を配置
3	◇本館の耐震補強工事竣工 ◇本館書庫増築 (669㎡) 竣工
1986 (昭61) 11	◇図書館業務用電子計算機 (HITAC L470Xシステム) 導入
1987 (昭62) 6	◇図書館業務の電算化に対応するため、事務組織を変更 整理課受入係・整理係を廃止して和書係・洋書係とし、新たに学術情報係を設置、2課6係となる
1988 (昭63) 4	◇「国立大学および国立短期大学の事務局等の部及び課に関する訓令」の一部改正に伴い、事務部の名称変更
6	◇利用者用コンピュータ端末による図書検索開始 (開架全図書及び4月以降の新規受入図書)
1990 (平 2) 3	◇本館視聴覚コーナー (4階) を開設
5	◇情報処理センターとの協力により、学内LANを利用したオンライン学内図書検索システム開始
10	◇本館外国雑誌閲覧室 (3階) に無人入退館管理システムを設置、24時間利用可能となる
1991 (平 3) 3	◇本館空調設備工事施工 (5階)
4	◇静岡県公共図書館等の資料相互貸借に関する協定に加盟
1992 (平 4) 1	◇本館空調設備工事施工 (3、4階)
5	◇完全週休2日制実施に伴う土曜半日 (午前) 開館
1995 (平 7) 5	◇附属図書館のホームページを開設
1996 (平 8) 3	◇本館地方資料室を移転し、第2閲覧室に模様替
4	◇本館及び浜松分館土曜全日開館実施
10	◇創立50周年記念誌編集室開設 (1999年迄)
1997 (平 9) 10	◇本館視聴覚室を改修し、SCSスタジオ開設
11	◇静岡県大学図書館協議会設立、加盟 ◇「幕末・明治期古写真等資料展」開催
1998 (平10) 3	◇CD-ROMサーバ導入 ◇浜松分館にブックディテクションシステム装置導入

年 月	事 項
7	◇本館第2閲覧室（ハーベストルーム）にパソコン18台を設置
10	◇事務再編に伴い、事務組織を変更 和書係・洋書係を廃止して資料受入係・目録情報係とし、情報管理課学術情報係をシステム管理係と改称して情報サービス課に所属
1999（平11） 1	◇本館書庫入庫時間延長 ◇「幕末・明治期肖像写真展」開催
3	◇浜松分館AVルーム開設
5	◇博士学位論文要旨のホームページ公開
9	◇国際放送視聴コーナー開設
11	◇「写真展 躍動する静岡大学の50年」開催
2000（平12） 4	◇本館開館時間変更（月～金 9:00～22:00, 土 11:00～19:00）（試行） ◇浜松分館自動貸出返却装置導入 ◇本館新入生セミナーで「附属図書館利用セミナー」実施（試行）
2001（平13） 3	◇本館自動貸出返却装置導入
4	◇本館開館時間変更（月～金 9:00～22:00, 土 11:00～19:00） ◇浜松分館開館時間変更（月～金 9:00～21:00, 土 9:00～17:00）（試行） ◇本館・浜松分館新入生セミナーで「附属図書館利用セミナー」実施（試行）
10	◇利用学生モニターの設置
11	◇図書館総合整備計画（第一次）－「知と情報のコーディネーター」へ向けて-の策定
2002（平14） 2	◇図書館業務用システム（NTTデータ NALIS）導入
3	◇大学閲覧室の閲覧机・椅子の更新および閲覧室床カーベットの張替え等学習環境の整備
4	◇図書館利用セミナーの実施（必修科目として正規の単元化）
10	◇日曜・祝日開館及び土曜時間延長の本格実施
2003（平15） 2	◇本館正面玄関の改修
4	◇学外者への館外貸出サービスを開始 ◇浜松分館平日夜間開館時間を1時間延長
2004（平16） 4	◇法人化に伴い、附属図書館事務部は新設の学術情報部として統合 図書館関係2課（情報管理課・情報サービス課）の組織内変更はなし
2005（平17） 1	◇OBオフィス開設
6	◇公開イベント「のぞいてみよう大学の図書館」開催
10	◇課・係制からチーム・スタッフ制へ移行 図書館は図書館情報チームとなり、3スタッフ（図書館マネジメントスタッフ、学術資料スタッフ、利用サービススタッフ）で構成
2006（平18） 4	◇図書館情報チームの改組 研究協力・情報図書チームとなり、図書館は2課長から1課長2副課長となる ◇静岡県立中央図書館との資料相互搬送開始
6	◇おうだんくん（県内横断検索システム）へ参加
2007（平19） 2	◇図書館業務用システム更新
3	◇自動貸出装置増設
8	◇地域目録講習会（図書コース）開催
9	◇電子ジャーナル（Nature・Science）導入 ◇本館第2閲覧室（ハーベストルーム）拡張 ◇「静大図書館 NewsLetter」創刊
11	◇写真展「写真でつづる静岡大学の軌跡」開催
2008（平20） 4	◇静岡大学学術リポジトリ（SURE）本公開 ◇チーム名変更（研究協力・情報図書チームから図書館チームへ）
8	◇附属図書館外部評価委員会開催
2009（平21） 3	◇浜松分館旧機械室に電動書架設置
4	◇入退館管理システム導入 ◇電子データベース（Web of Science）導入
6	◇ライブラリーセミナー「蘇る安部七騎」開催
2010（平22） 4	◇本館リニューアルオープン ◇ギャラリー企画展運用開始
2011（平23） 7	◇事務再編に伴い、チーム・スタッフ制から課・係制へ移行 図書館チームは図書館情報課となり、8係（企画調整係、電子情報係、図書情報係、雑誌情報係、利用サービス係、レファレンス係、分館資料係、分館サービス係）となる。 ◇浜松分館改修工事竣工
2012（平24） 2	◇図書館業務用システム更新
6	◇学習支援促進のための三大学連携事業に関する協定を締結（金沢大学、静岡大学、名古屋大学）

2. 歴代館長・分館長

附属図書館長	氏 名	学 部	在 任 期 間
	富田文雄	文 理 学 部	1949. 12. 12 ~ 1952. 12. 11
	大室貞一郎	〃	1952. 12. 12 ~ 1954. 12. 11
	河内清	〃	1954. 12. 12 ~ 1958. 12. 11
	山田良之助	学 長 (事 務 取 扱)	1958. 12. 12 ~ 1959. 8. 31
	山岸五平	教 育 学 部	1959. 9. 1 ~ 1961. 8. 31
	島谷俊三	〃	1961. 9. 1 ~ 1963. 8. 31
	宇野慶三郎	教 養 部	1963. 9. 1 ~ 1965. 6. 30
	内藤晃	人 文 学 部	1965. 7. 1 ~ 1967. 6. 30
	兼岩芳夫人	農 学 部	1967. 7. 1 ~ 1969. 6. 30
	天野佳夫人	人 文 学 部	1969. 7. 1 ~ 1971. 6. 30
	石塚経雄	教 養 部	1971. 7. 1 ~ 1973. 6. 30
	上野実朗	理 学 部	1973. 7. 1 ~ 1975. 6. 30
	中沢正寿	教 育 学 部	1975. 7. 1 ~ 1977. 6. 30
	渡辺安夫	教 養 部	1977. 7. 1 ~ 1979. 6. 30
	豊川卓爾	人 文 学 部	1979. 7. 1 ~ 1981. 6. 30
	細井寅三郎	農 学 部	1981. 7. 1 ~ 1983. 6. 30
	大月卓郎	工 学 部	1983. 7. 1 ~ 1985. 6. 30
	中村博保生	教 育 学 部	1985. 7. 1 ~ 1987. 6. 30
	森口治生夫	理 学 部	1987. 7. 1 ~ 1989. 6. 30
	水野秀夫	農 学 部	1989. 7. 1 ~ 1991. 6. 30
	吉本健一	教 養 部	1991. 7. 1 ~ 1993. 6. 30
	小澤康彦	人 文 学 部	1993. 7. 1 ~ 1995. 6. 30
	久保靖一	工 学 部	1995. 7. 1 ~ 1997. 6. 30
	杉田泰一	教 育 学 部	1997. 7. 1 ~ 1999. 6. 30
	浅井哲也	理 学 部	1999. 7. 1 ~ 2001. 3. 31
	大江泰一郎	人 文 学 部	2001. 4. 1 ~ 2003. 3. 31
	一番場公雄	農 学 部	2003. 4. 1 ~ 2005. 3. 31
	小和田哲男	教 育 学 部	2005. 4. 1 ~ 2007. 3. 31
	加藤憲二	理 学 部	2007. 4. 1 ~

浜松分館長	氏 名	学 部	在 任 期 間
	市川常男	工 学 部	1965. 4. 1 ~ 1976. 3. 31
	松本欣二	〃 (事 務 取 扱)	1976. 4. 1 ~ 1976. 4. 30
	井本文夫	〃	1976. 5. 1 ~ 1980. 3. 31
	大月卓郎	〃	1980. 4. 1 ~ 1983. 6. 30
	藤田郁夫	〃	1983. 7. 1 ~ 1987. 6. 30
	大山襄夫	〃	1987. 7. 1 ~ 1989. 6. 30
	藤田郁夫	〃	1989. 7. 1 ~ 1991. 6. 30
	清水孝仁	〃	1991. 7. 1 ~ 1995. 6. 30
	石井邦夫	〃	1995. 7. 1 ~ 1997. 6. 30
	渥美邦夫	〃	1997. 7. 1 ~ 1999. 3. 31
	岡村静致	〃	1999. 4. 1 ~ 2001. 3. 31
	鎌田宏	情 報 学 部	2001. 4. 1 ~ 2003. 3. 31
	市川朗	工 学 部	2003. 4. 1 ~ 2004. 3. 31
	野飼享	〃	2004. 4. 1 ~ 2005. 3. 31
	雨宮正彦	情 報 学 部	2005. 4. 1 ~ 2009. 3. 31
	中島伸治	工 学 部	2009. 4. 1 ~ 2011. 3. 31
	高松良幸	情 報 学 部	2011. 4. 1 ~



☆平成24年7月1日現在（実数）



—7—

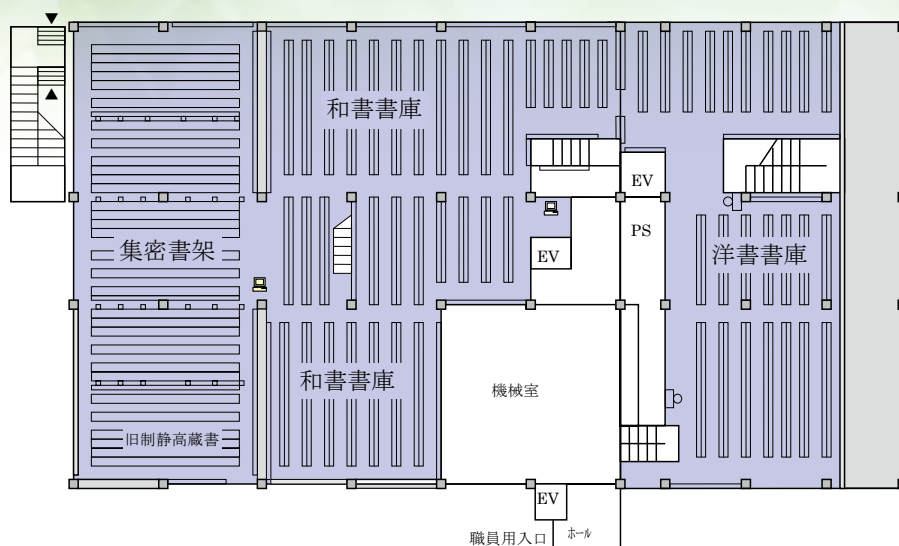


| 施設設備 |

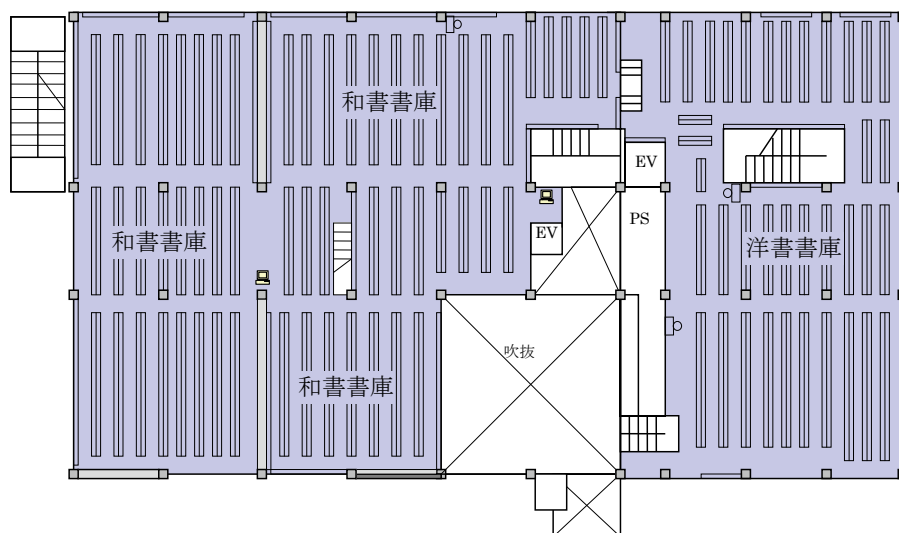
1. 平面図

◇本館

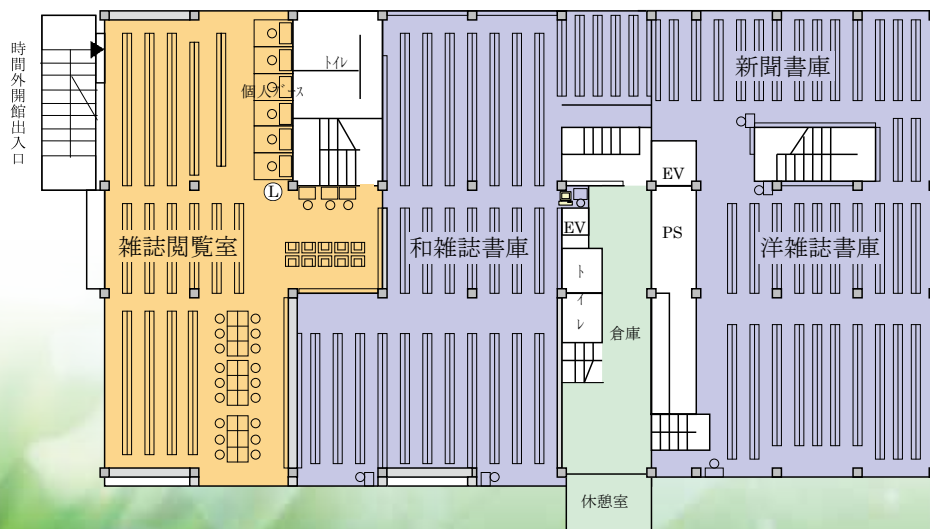
1 階



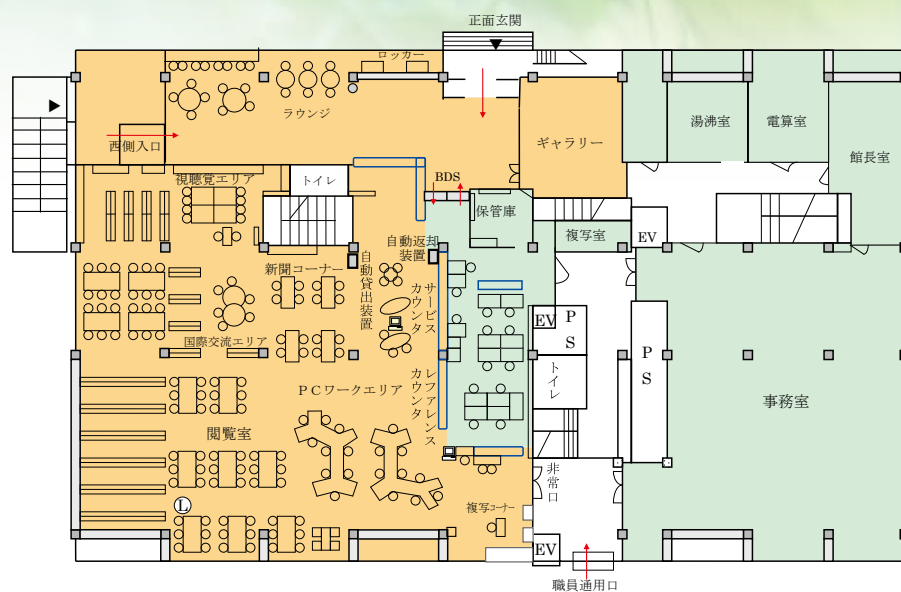
2 階



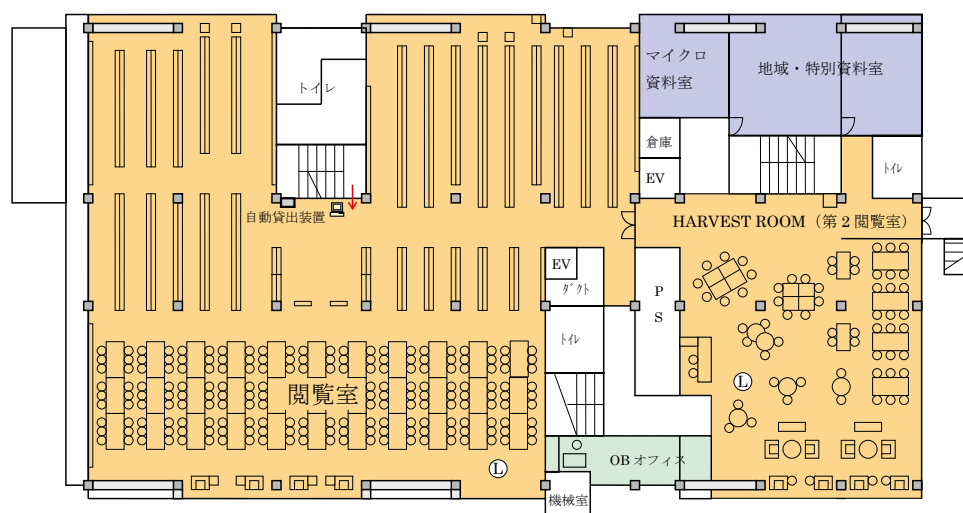
3 階



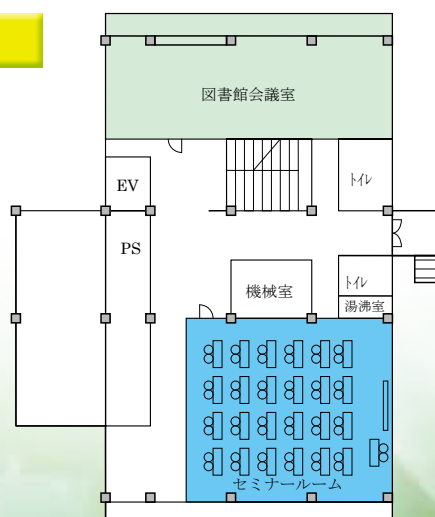
4 階



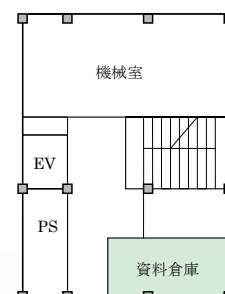
5 階



6 階



7 階



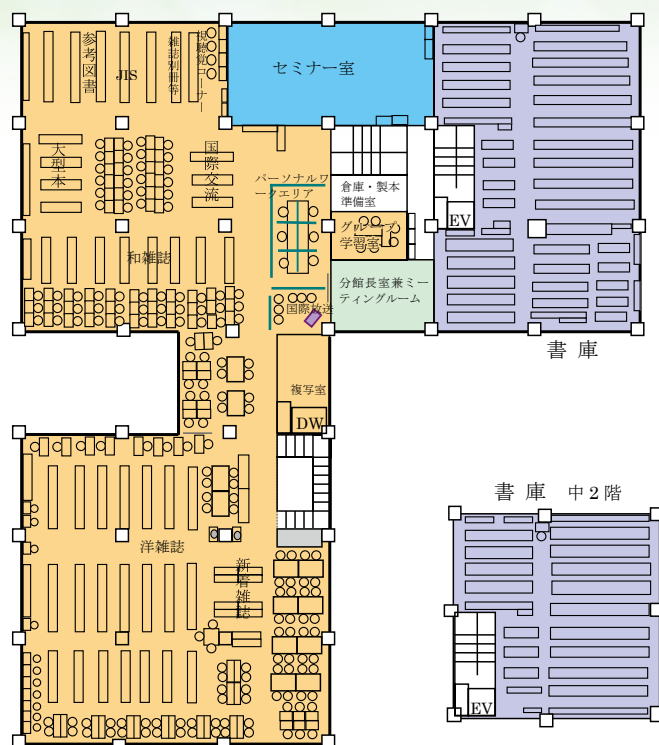
- 書庫
- 閲覧室
- 事務室
- 検索用パソコン
- ① 情報コンセント

◇浜 松 分 館

1 階



2 階



2. 諸設備

設 備 名	本 館	浜松分館	計
国際放送視聴設備	1 式	2 式	3 式
カセットテーププレーヤー	1 台	1 台	2 台
ビデオテーププレーヤー	4 台	1 台	5 台
CD・LDプレーヤー	1 台		1 台
DVDプレーヤー	4 台	4 台	8 台
超指向性音響システム		1 式	1 式
オーバーヘッドプロジェクター	1 台	2 台	3 台
液晶プロジェクター	3 台	1 台	4 台
コピー機	2 台	1 台	3 台
ブックコピー機	1 台		1 台
オフセット印刷機	1 台		1 台
卓上自動製本機	1 台		1 台
マイクロフィルムリーダプリンタ	1 台	1 台	2 台
利用者用端末(パソコン) ネットワーク対応	86 台	45 台	131 台
図書館業務用電子計算機システム	1 式		1 式
ブックディテクションシステム	1 式	1 式	2 式
全館冷房装置	1 式	2 式	3 式
エレベータ	3 基	1 基	4 基
ダムウェータ		1 基	1 基

3. 主要室面積及び座席数

	階 数	室 名	面 積	座席数	備 考
本 館	1 階 1,380㎡	書庫 その他	1,054㎡ 326	2席	一部集密書架
	2 階 1,305㎡	書庫 その他	1,192 113	3	
	3 階 1,495㎡	書庫 雑誌閲覧室 個人ブース 印刷室等 その他	839 334 24 57 241	6 28 6	無人入退館システム
	4 階 1,533㎡	開架閲覧室 ラウンジ 複写室 サービスカウンタ ギャラリー 館長室 事務室 その他	546 103 13 84 44 49 382 312	126 22 20	参考図書、新聞、PCワークエリア、視聴覚エリア、国際交流エリア 電子計算機室を含む
	5 階 1,503㎡	開架閲覧室 第2閲覧室 地域・特別資料室 マイクロ資料室 その他	821 244 95 30 313	202 68 1 2	開架図書 Harvest Room
	6 階 563㎡	会議室 セミナールーム その他	119 125 319	48	
	7 階 248㎡	書類庫等 その他	43 205		
	本館合計		8,027㎡	534席	書架延長 27,130m 収容可能冊数 753,625冊

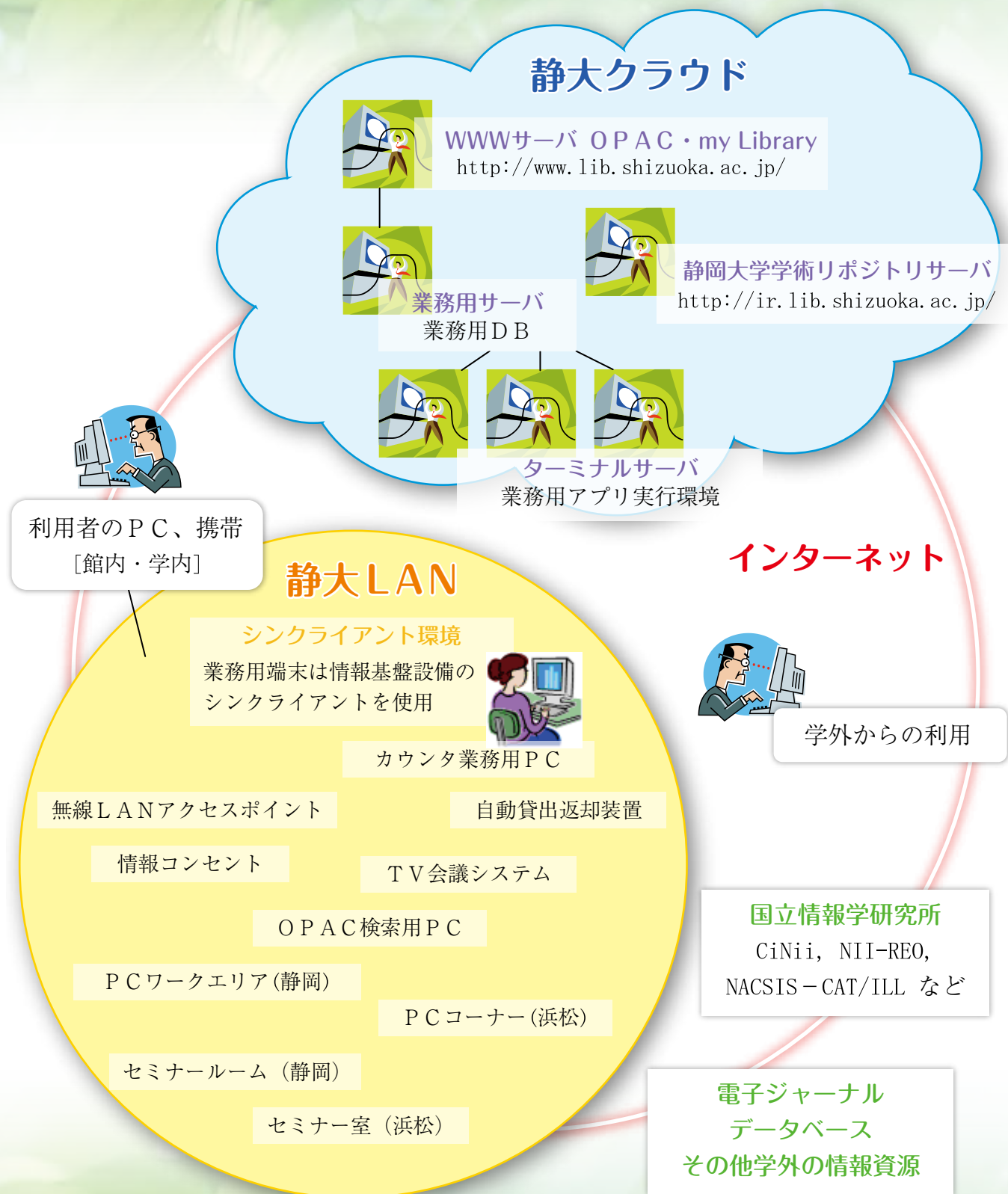
浜 松 分 館	1 階 1,342㎡	書庫 開架閲覧室 ラウンジ サービスカウンタ 事務室 その他	214㎡ 689 95 22 103 219	95席 35	一部集密書架 開架図書、無人入退館システム グループワークエリア、パソコンコーナー、新聞閲覧コーナー
	2 階 1,385㎡	書庫 開架閲覧室 パーソナルワークエリア 国際放送視聴コーナー グループ学習室 セミナー室 複写室 分館長室 その他	283 781 24 8 20 95 19 30 125	175 6 10 6 32	雑誌、参考図書 国際交流エリア PCワークエリア(兼)
	浜松分館 合 計		2,727㎡	359席	書架延長 8,526m 収容可能冊数 236,833冊

合 計	10,754㎡	893席	書架延長 35,656m 収容可能冊数 990,458冊
-----	---------	------	---------------------------------



| 情報システム |

1. 情報システムの概要



2. 電子資料等

○ 電子ジャーナル

- Science Direct (エルゼビア社) ※フリーダムコレクション契約
利用タイトル数 2,091 (バックファイルは1998年からすべて利用可能)
- Wiley Online Library (ワイリー・ブラックウェル社)
利用タイトル数 1,370 (バックファイルは概ね1997年から利用可能)
- Springer-Link (シュプリンガー社)
利用タイトル数 1,830 (バックファイル1,074誌は創刊号から、その他は2000年から利用可能)
- Nature (本誌、※Nature Digest含む)
1987年～
- Science
1880年～

○ 電子ブック

- NetLibrary (購入タイトルと著作権フリータイトル3,510件の閲覧)
- Springer eBooks (購入タイトル6,873件の閲覧)

○ データベース (ネットワーク)

- Web of Science (全分野における主要な学術雑誌の論文情報・引用関係データベース)
- Journal Citation Reports : Science edition (主要学術論文評価データベース)
- MathSciNet (数学関係文献データベース)
- SciFinder (Academic) (化学関係文献データベース)
- PsycINFO (心理学関係文献データベース)
- JDream II (科学技術・医学関係文献データベース)
- LexisNexis at lexis.com (国外法律情報文献データベース)
- LexisNexis Academic (国外ビジネス・ニュース・法律関係文献データベース)
- TKCローライブラリー・ロースクール (国内判例関係文献データベース)
- LLI統合型法律情報システム <法科大学院・人文社会科学部および図書館のみ>
- BOOKPLUS (図書情報検索データベース)
- MAGAZINEPLUS (雑誌論文・記事検索データベース)
- 聞蔵Ⅱビジュアル (朝日新聞記事データベース)
- ヨミダス歴史館 (読売新聞記事データベース)
- 毎索 (毎日新聞記事データベース)
- 静岡新聞データベースplus日経テレコン21 (静岡新聞及び日本経済新聞記事データベース)
- ジャパンナレッジ・プラスN (「日本大百科全書」ほかのネット版)
- ブリタニカ・オンライン・ジャパン (Global Reference Center含む) (ブリタニカの百科事典データベース)
- 日経BP記事検索データベース
- 理科年表プレミアム
- 化学書資料館 (日本化学会編集の図書全文検索および化合物検索データベース)
- ルーラル電子図書館 (農業関係の図書・雑誌等のデータベース)
- JSA Library Server (JISの電子版) <浜松キャンパスのみ>

○ CD-ROM等 (スタンドアロン型)

- 読売新聞「明治」「大正」「昭和 (戦前)」CD-ROM (本館)
ほか



主要コレクション

1. 大型コレクション

文庫名	内 容	設 置 年
◆原家旧蔵江戸後期芸文資料	静岡県駿東郡大平村(現沼津市)の旧家、原家に代々伝来された資料を購入したものである。 この資料は江戸後期を中心に明治期にまで及ぶ全451点1,281冊からなり、俳諧書を中心に、歌書、戯作類、絵画、地誌、仏教書、国学関係書、そして自然科学書をも含む、広い範囲にわたる貴重なコレクションである。日本文学、日本歴史の研究者をはじめ、多方面の研究者の利用が期待される。冊子目録「原家旧蔵江戸後期芸文資料目録」を作成。	昭和61年度
◆近現代ドイツ資料コレクション	1. Statistik des Deutschen Reichs (Alte Folge), Bd.I-63, 1873-1883. 2. Statistik des Deutschen Reichs (Neue Folge), Bd.I-601, 1884-1944. 3. Statistisches Jahrbuch für das Deutsche Reich, Bd.I-59, 1880-1941/42. 4. Statistisches Jahrbuch deutscher Gemeinden, Bd.I-70, 1890-1983. 5. Preussische Statistik, Bd.I-305, 1861-1933. 6. Schriften des Vereins für Sozialpolitik (Alte Folge), Bd.I-188, 1873-1939. 7. Schriften des Vereins für Sozialpolitik (Neue Folge), Bd.I-220, 1949-1993. 8. Jahrbuch für Gesetzgebung, Verwaltung und Rechtspflege, Bd.I-4, 1871-1876. 9. Schmollers Jahrbuch für Gesetzgebung, Verwaltung und Volkswirtschaft, Bd.I-68, 1877-1944 10. Acta Borussica: Denkmäler der preussischen Staatsverwaltung im 18. Jahrhundert, 1892-1936 11. Jahresberichte der Gewerbe- Aufsichtsbeamten und Bergbehörden, 1876-1937/38. 12. Allgemeines Statistisches Archiv, Bd.I-55 1890-1967 13. Zeitschrift für die gesamte Staatswissenschaft, Bd.I-85 1844- 14. Preussische Jahrbücher, Bd.I-240, 1858-1935. 近現代ドイツの経済、政治、社会、文化を研究するための基礎資料であり、基本的な数量的データを得ることができる。	昭和62年度、平成2年度及び平成5年度
◆Le Monde , Dec.1944- Dec.1983 (microfilm)	1944年にパリで創刊された新聞、世界のエリート紙の代表格である。特定の政党や資本に左右されない自主独立の体制、卓越した解説と分析、冷静かつ公平な報道に由来するもので、国際情勢に関してかなりの重点が置かれている。	昭和59年度
◆Landolt-Bornstein Numerical Data [ランドルト・ベルン シュタイン定数表]	本定数表は、素粒子、原子核の分野から原子・分子、結晶などの構造や物性、溶液化学、工業化学、地球鉱物までを含む、科学・技術に関する膨大な実験データ集である。特に既刊行(1994年現在)のうち物性分野は充実している。	本館既蔵書分に 平成6年度補強

文庫名	内 容	設 置 年
◆欧米比較政治学 基本資料集成	1. American Journal of Political Science. Vols. 1-39 (1957-1995) 2. Comparative Political Studies. (C.P.S) Vols. 1-29 (1968/69-1996) 3. Comparative Politics. Vols. 1-29 (1968/69-1996/97) 4. European Journal of Political Research. Vols. 1-28 (1973-1995) 5. Journal of Public Policy. Vols. 1-12 (1981-1992) 6. Journal of Politics. Vols. 1-58 (1939-1996) 7. World Politics. Vols. 1-49 (1948/49-1995/96) 今日では古典となりつつある比較政治学上の画期的で重要な論文・寄稿・記事等を所収した主要誌を体系的に蒐集・集成したものである。	平成11年度

2. 特殊コレクション

文庫名	内 容	設 置 年
◆河井文庫 明治、大正期の 新聞コレクション	自由民権期では、「静岡新聞」「静岡大務新聞」が断片的に収蔵されているほか、東京の「朝野新聞」がかなりある。明治後期の「静岡新報」、明治後期から大正末期までの「静岡民友新聞」がこの文庫の圧巻である。さらに同じ時期の「報知新聞」「東京朝日新聞」「万朝報」「東京日々新聞」等の静岡版を有している。これらの新聞は地域研究には不可欠な資料である。「静岡民友新聞」と「静岡新報」はマイクロフィルム版を作成。冊子目録「河井家寄贈新聞目録」を作成。	掛川の河井家当主重友氏のご好意により1957年に当館に寄贈
◆国際連盟 刊行物資料	第一次大戦後設立された、国際連盟は国連の前身をさすもので、本館所蔵文書数は3,571点あり、公式記録、経済、金融、社会、法、委任統治、奴隷取締、政治、運輸交通、軍縮、財政、麻薬取締、文化協力、連盟事務局、一般、レファレンスの16部門に分類され、特に連盟総会の公式記録がほぼ揃っている。政治、経済、社会、教育等の戦間期研究にとって、この資料は不可欠であるとともにこれらの文書は、国立国会図書館が所蔵する連盟資料と相互補完をなしており、貴重な資料である。	昭和54年度に文部省の外国図書購入費で購入

3. その他の主要コレクション

- ◆United States decennial census publications, 1790-1970 (microfilm)
〔アメリカ国税調査報告書 第1～19回〕
- ◆All U.S. Department of Agriculture publications (microfiche)
〔アメリカ農務省全出版物〕
- ◆Social and economic development plans, except for Africa (microfiche)
〔世界各国の社会経済開発計画資料集〕
- ◆Aetas Kantiana (reprint ed.)
〔カント時代哲学書復刻シリーズ〕



資料統計

1. 受入数

平成23年度（平成24年3月31日現在）

区 分	図 書				雑 誌			
	和 書	洋 書	計	前年度計	和 雑 誌	洋 雑 誌	計	前年度計
本 館	9,253	596	9,849	10,578	1,732	264	1,996	1,928
浜松分館	3,692	511	4,203	4,591	383	71	454	506
合 計	12,945	1,107	14,052	15,169	2,115	335	2,450	2,434

2. 蔵書数

平成23年度（平成24年3月31日現在）

区 分	図 書				雑 誌			
	和 書	洋 書	計	前年度計	和 雑 誌	洋 雑 誌	計	前年度計
本 館	682,587	260,384	942,971	951,701	10,850	4,415	15,265	15,008
浜松分館	182,064	100,166	282,230	264,829	2,105	1,811	3,916	3,815
合 計	864,651	360,550	1,225,201	1,216,530	12,955	6,226	19,181	18,823

3. 視聴覚資料数

平成23年度（平成24年3月31日現在）

区 分	マイクロフィルム	マイクロフィッシュ	ビデオテープ	CD-ROM	CD/LD	DVD	その他	計	前年度計
本 館	4,167	6,287	959	398	397	551	196	12,955	12,926
浜松分館	200	0	438	138	152	618	24	1,570	1,522
合 計	4,367	6,287	1,397	536	549	1,169	220	14,525	14,448

4. 分類別蔵書冊数

平成23年度（平成24年3月31日現在）

区 分	本 館			分 館			合 計	前年度計
	和 書	洋 書	計	和 雑 誌	洋 雑 誌	計		
0 総 記	53,182	9,145	62,327	12,623	4,337	16,960	79,287	79,651
1 哲 学	38,482	20,695	59,177	9,003	1,068	10,071	69,248	68,675
2 歴 史	79,518	12,862	92,380	7,834	557	8,391	100,771	99,001
3 社会科学	219,367	73,374	292,741	21,697	1,205	22,902	315,643	312,127
4 自然科学	84,567	66,468	151,035	50,214	54,244	104,458	255,493	255,384
5 技 術	35,593	5,495	41,088	55,075	30,980	86,055	127,143	126,592
6 産 業	46,958	9,750	56,708	2,312	148	2,460	59,168	58,803
7 芸 術	27,326	4,503	31,829	5,017	408	5,425	37,254	36,828
8 語 学	26,969	15,591	42,560	7,951	3,563	11,514	54,074	53,395
9 文 学	70,625	42,501	113,126	10,338	3,656	13,994	127,120	126,074
合 計	682,587	260,384	942,971	182,064	100,166	282,230	1,225,201	1,216,530

5. 図書館経費

◇平成23年度 運営関係経費	80,764千円	（前年度 79,258千円）
◇平成23年度 図書館備付資料費	116,668千円	（前年度 115,939千円）
◇平成23年度 その他の経費	21,273千円	（前年度 20,227千円）



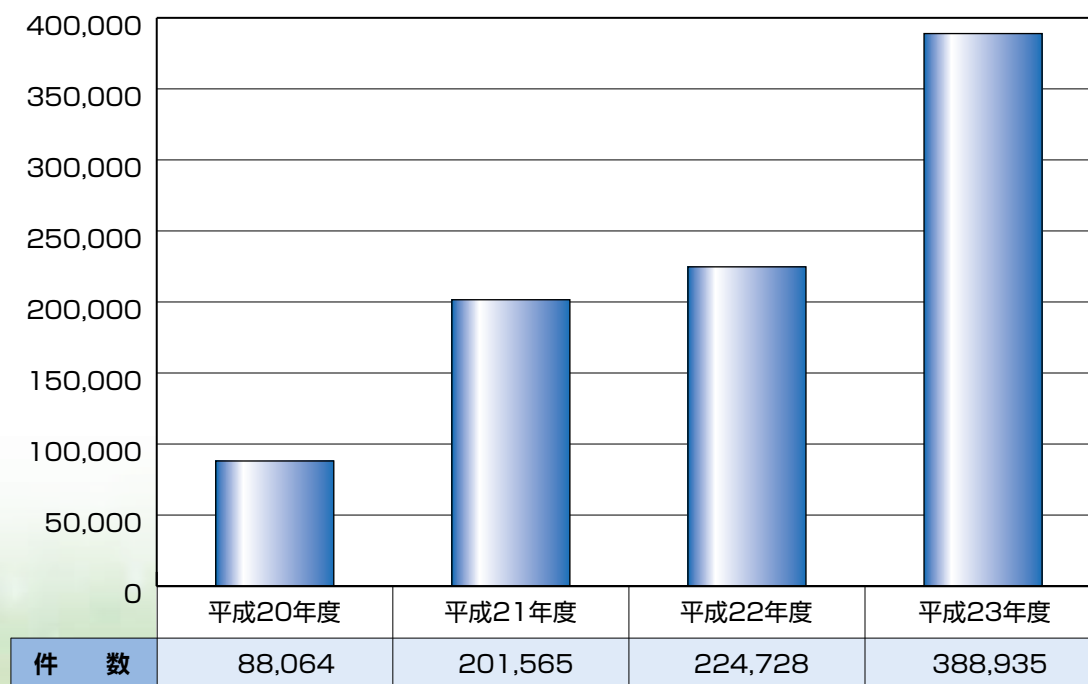
1. 資源タイプ別コンテンツ数

(平成24年3月31日現在)

区 分	日本語	外国語	計	前年度計
Journal Article (学術雑誌論文)	1,211	828	2,039	1,905
Thesis or Dissertation (学位論文)	274	63	337	193
Departmental Bulletin Paper (紀要論文)	2,385	122	2,507	2,043
Conference Paper (会議発表論文)	5	4	9	4
Presentation (会議発表用資料)	1	0	1	1
Book (図書)	16	13	29	28
Technical Report (テクニカルレポート)	47	0	47	37
Research Paper (研究報告書)	321	7	328	234
Article (一般雑誌記事)	34	0	34	17
Preprint (プレプリント)	0	1	1	1
Learning Material (教材)	4	1	5	3
Data or Dataset (データ・データベース)	0	0	0	0
Software (ソフトウェア)	0	0	0	0
Others (その他)	343	61	404	404
合 計	4,641	1,100	5,741	4,870

2. ダウンロード件数

※ロボットによるアクセスを除く





| 利用統計 |

1. 開館日数等

(平成23年度)

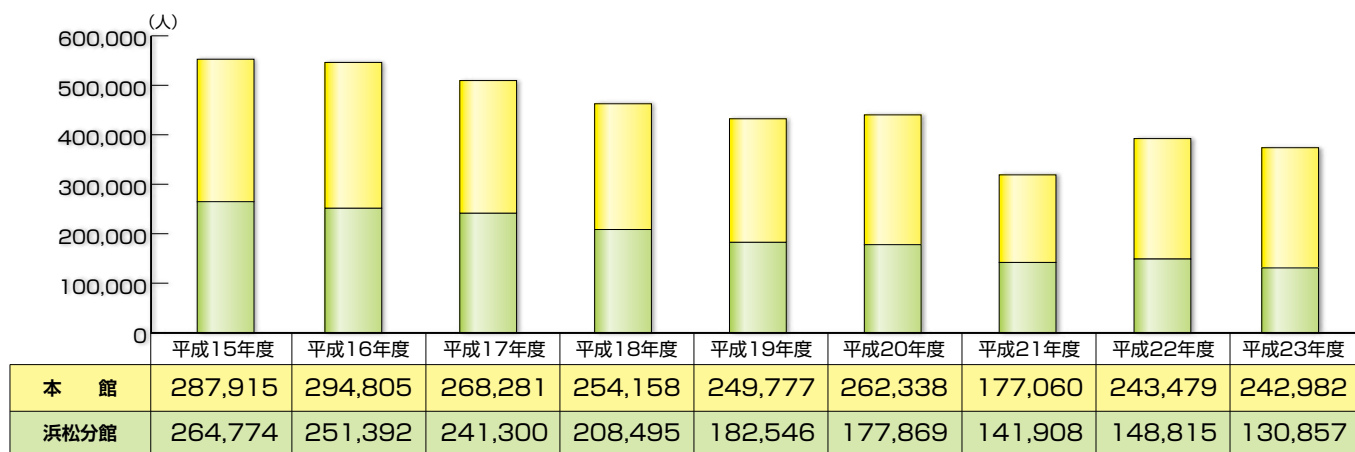
(単位：日)

(単位：時間)

区 分	年間開館日数			年間時間外開館時間数		
	平日	土／日・祝	総日数	平日	土／日・祝	総時間数
本 館	231	104	335	940	1,040	1,980
浜松分館※	220	104	324	898	1,040	1,938

※改修工事にもなう休館が13日あった。

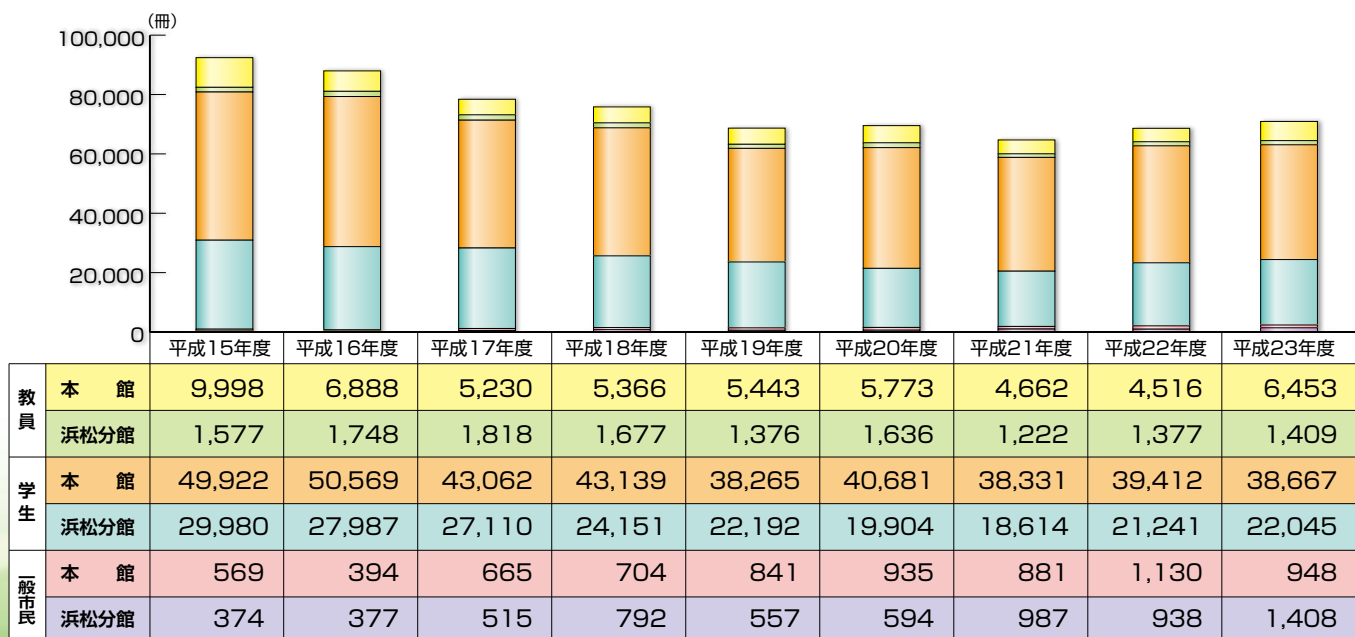
2. 入館者数



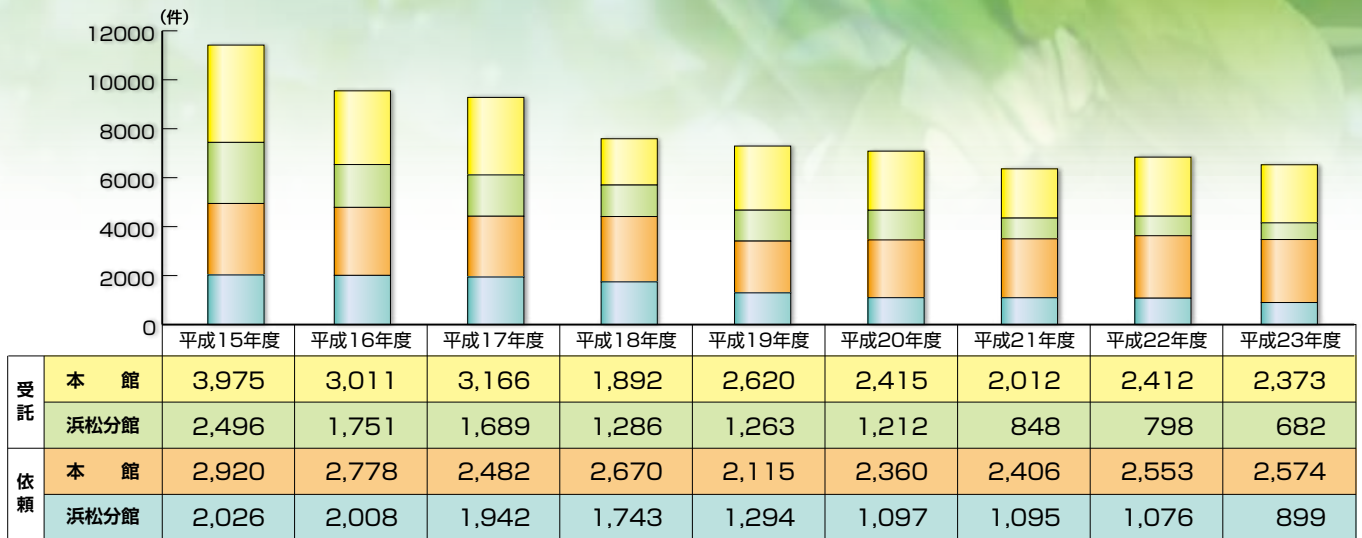
※平成21年度は、本館リニューアル工事による閉館等の影響有り

※平成23年度は、浜松分館改修工事による閉館等の影響有り

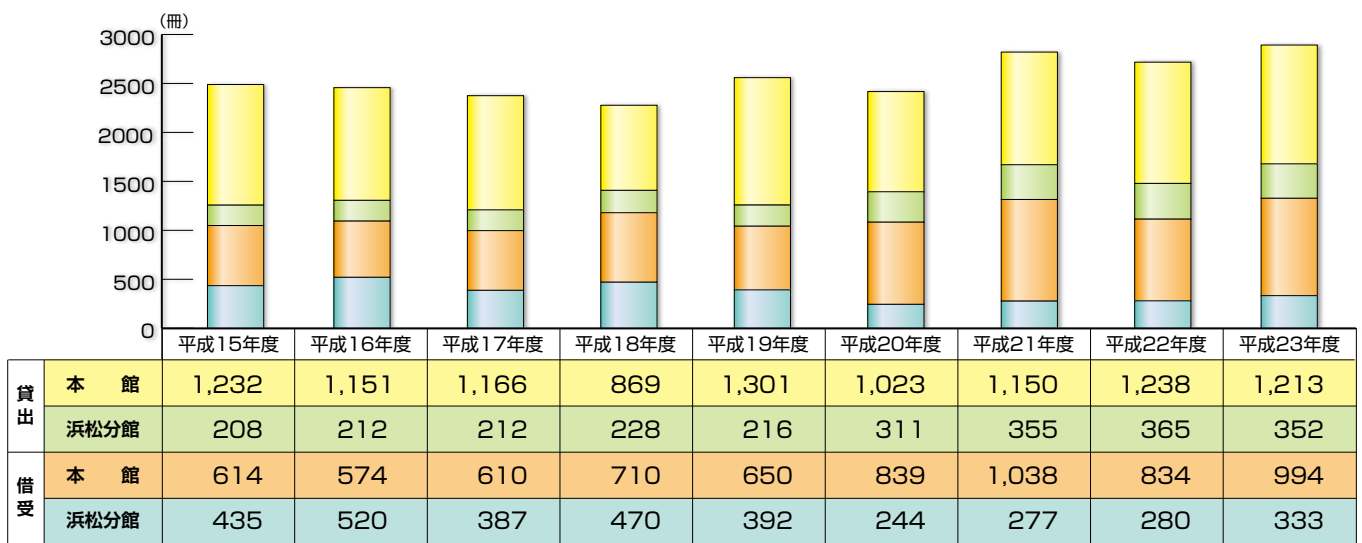
3. 館外貸出冊数



4. ILL（図書館間相互協力） 文献複写件数



5. ILL（図書館間相互協力） 現物貸借冊数



6. セミナー参加人数

		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
		回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
本館	図書館利用セミナー（ベシク編）	49	1280	46	1265	41	1265	45	1249
	図書館利用セミナー（ベシク編）大学院生向け	—	—	2	30	2	23	2	25
	図書館利用セミナー（アドバンス編）	46	636	26	536	33	636	32	683
	データベース講習会	6	153	8	98	7	164	6	76
浜松分館	図書館利用セミナー（ベシク編）	23	734	32	734	31	744	14	739
	図書館利用セミナー（アドバンス編）	17	112	21	95	2	15	—	—
	データベース講習会	5	77	5	63	3	49	3	72



| 刊行物等 |

1. 冊子体目録

河井家寄贈新聞目録	1957 年
静岡地方裁判所掛川支部寄贈図書目録（明治期刊行法律書）	1971 年
静岡大学雑誌目録（和文編）	1972 年
静岡大学雑誌目録（欧文編）	1974 年
指定図書目録	1968 年～1995 年
宇山文庫目録（英米文学関係資料）	1977 年
大場秋雄氏寄贈エスペラント語関係資料目録	1977 年
花岡文庫目録（主に民族学関係）	1977 年
国際連盟刊行物資料目録 1920 年～1946 年	1980 年
旧制静岡高等学校蔵書と漢書書名リスト	1982 年
原家旧蔵江戸後期芸文資料目録	1986 年
小此本文庫目録（政治史・国際政治関係）	1987 年
坂藤英隆氏寄贈目録（中国語刊中国文学）	1988 年
黒羽文庫目録（日本近代史関係資料）	1990 年
手塚弘保文庫目録（ロシア語による人文科学関係資料）	1993 年
河内清文庫目録（フランス自然主義文学関係資料）	1995 年
白石信明文庫目録（法律関係専門図書）	1995 年
小澤康彦文庫目録（英文学関係資料）	2000 年
五井直弘文庫目録（東洋史関係資料）	2002 年

2. 定期刊行物・その他

図書館通信（年刊）	1970 年～
利用のてびき（年刊）	1974 年～2005 年
Library Navigator（りぶ・なび）（年刊）	2006 年～
静岡大学附属図書館概要（年刊）	1979 年～
としょかんニュース（随時）	1997 年～2007 年
静大図書館 Newsletter（随時）	2007 年～
附属図書館利用マニュアル（教員用）（年刊）	2002 年～

静岡大学附属図書館ホームページ <http://www.lib.shizuoka.ac.jp/>





| 交通案内・図書館位置図 |

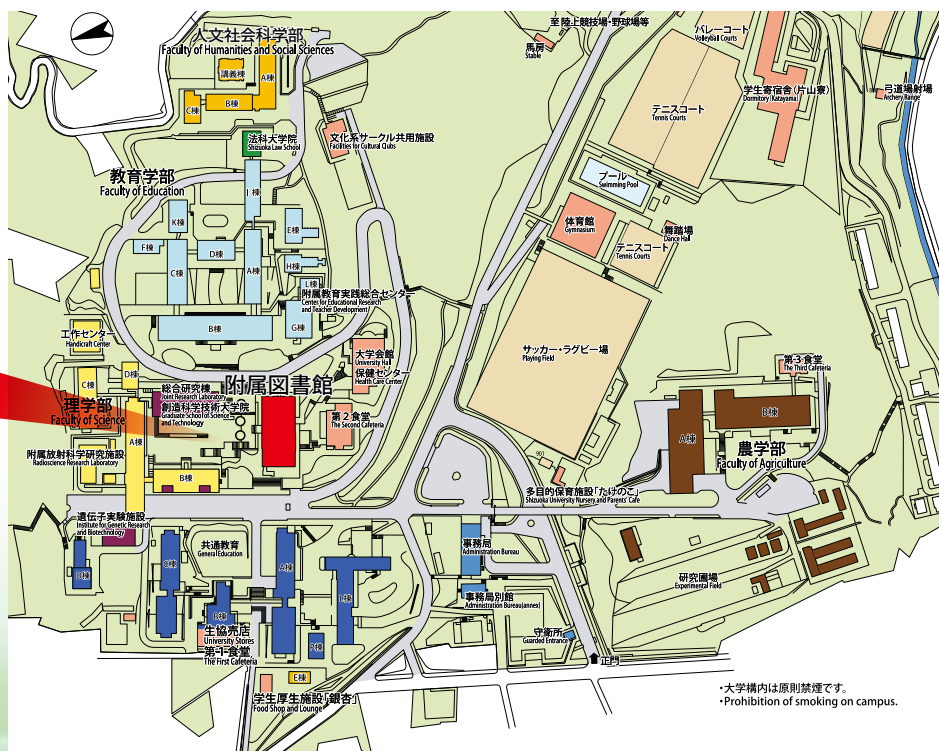
◇静岡キャンパス



1. JR静岡駅北口バスターミナル8番乗場から「静岡大学」又は「東大谷」行きに乗車し、「静岡大学」又は「静大片山」下車（所要時間約25分）
2. JR静岡駅からタクシーで約15分。

◇本館 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
 TEL：054-238-4474 FAX：054-238-5408
 e-mail：olibrary@ipc.shizuoka.ac.jp

(本館)



・大学構内は原則禁煙です。
 ・Prohibition of smoking on campus.

◇浜松キャンパス



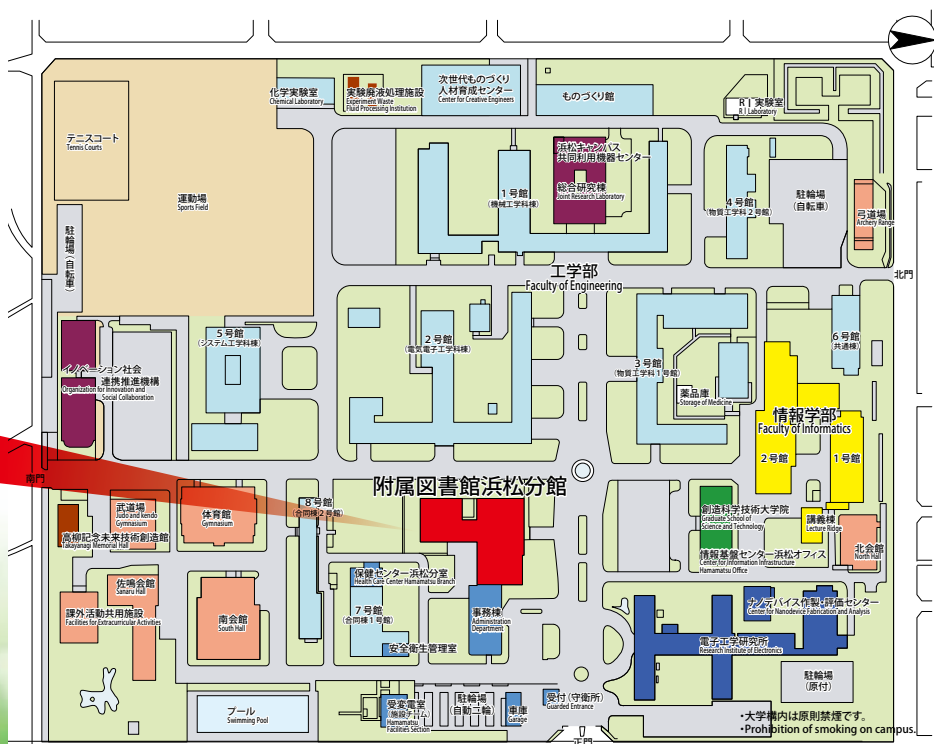
1. JR浜松駅北口バスターミナルの遠州鉄道バス15番又は16番乗り場から乗車し、「静岡大学」下車（所要時間約20分）
2. JR浜松駅からタクシーで約10分

◇浜松分館 〒432-8561 浜松市中区城北三丁目5-1

TEL : 053-478-1391 FAX : 053-478-1392

e-mail : ohlib@ipc.shizuoka.ac.jp

(浜松分館)



新たな大学図書館像の模索

静岡大学附属図書館浜松分館

分館長 高松 良幸

近年、情報通信技術（ICT）の急速な進展による印刷媒体を介した情報流通の役割の低下や、若年層の読書離れなどが指摘され、図書館のあり方に対する世間の眼は厳しいものがある。このような状況に対応するため、自らの使命やそれに基づく利用者へのサービス戦略の見直しが、各地の図書館で展開されている。

大学図書館をとりまく状況も同様ではあるが、そのような中、静岡大学附属図書館では、学生や教職員、その他関係者に対する図書・学術情報の提供、それらの利用方法の提示、また、学術情報を介した様々な人々の出会いの場の提供など、利用者のニーズに応じた各種のサービスを、ハード・ソフト両面から実施している。浜松分館では、2011年度の改装により、資料閲覧に相応しい明るい館内環境整備、利用者の討論や談話のためのスペース設置、館内やその周辺でのリフレッシュ・飲食スペースの設置などを実施し、利用者の好評を得ている。また、12年度前期には、学生によるカフェスペースの設置、運営により、交流の場としての図書館機能の充実化を試みた。

しかし浜松分館では、これらの試行に加え、大学の教育研究その他の機能と、図書館業務の連携を模索している。すなわち、キャンパスの中心に位置する現状の図書館の建物を改築し、人々の交流の場であることを目指す。学生・教職員その他の大学関係者に対する各種事務手続きや相談等の窓口を図書館と同一の建物内に配置することで、例えば、学生の履修相談やキャリアデザイン、健康相談などを図書・学術情報と人的助言・サポートなどの両面で実施するワンストップサービス体制の構築を図る（Student's PORT構想）。情報と人両面の相乗効果による利用者サポートの充実を図るとともに、学生だけでなく、教職員、近隣住民等の大学利用者相互の出会い、触発の場を提供することも期待できる。

ただ、大学図書館の根本的な使命は、大学の教育研究の基礎となる各種学術情報の保存と、それらの学生、教職員その他関係者への提供である。静岡大学附属図書館は、この根本的使命の遂行を基軸としながら、新たな大学図書館像の模索を進めて行くべきであると考えている。



静岡大学附属図書館概要 2012

平成24年9月発行

編集・発行 静岡大学附属図書館

〒422-8529 静岡市駿河区大谷8-3-6番地

Tel：054-238-4474

Fax：054-238-5408